静岡新聞
夕刊
7月27日(金)
〒422-8033
静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
電話〈054〉282-1111
月決め2,980円 本体 2,759円 消費税 221円
1部50円（消費税込み）
©静岡新聞社2018
浜松総局 浜松市中区旭町11-1 プレスタワー内 電話〈053〉455-3355
東部総局 沼津市魚町1 サンフロント内 電話〈055〉962-0380

看護師の復職 独自支援

袋井の診療所が研修

結婚や出産で離職した「潜在看護師」を対象に、袋井市浅岡の診療所「溝口ファミリークリニック」（溝口哲弘院長）が、独自の研修を行う「復職支援プロジェクト」を企画し、今夏から受講者が復職し始めた。復職を考えている看護師の不安を軽減し、地域医療の担い手を増やすのが狙い。業界全体が人手不足に悩む中、公的機関の支援とは別に、診療所の仕事内容に合わせたきめ細やかな研修内容で人材確保に取り組む。（鈴木美晴）

企画のきっかけは、同診療所で復職した看護師の「子育てとの両立や技能のブランクから復職を迷っていた」という声。復職支援事業は県看護協会が運営する「県ナースセンター」も各地で実施するが、総合病院などで勤務経験があっても診療所の仕事内容を知らない人に、雇用のミスマッチ防止にも役立てもらおうと、今年4月、独自の研修を始めた。復職の意思が明確でなくても、同クリニックに就職しなくても受講できる。

研修は約3時間。院内見学、採血練習、電子カルテの操作など。個別の要望や不安に同院スタッフが応じるランチ懇談も設けた。希望者には研修費を支給する追加研修も行う。

初の復職者は、2児の母の野中香織さん(41)。子育てに専念するために10年前に大規模病院を退職した。復職は未定だったが、「月2回の勤務も可能」という柔軟な働き方に引かれて受講し、同クリニックで6月から週に1回働き始めた。「研修で技術の勘が戻ったことが復職の一つのきっかけになった」と話す。

短時間勤務者であってもスタッフが増えることで、他の看護師が有給休暇を取得しやすくなるなど職場全体の働きやすさにもつながっている。溝口院長は「潜在看護師が復職の第一歩を踏み出す応援をしたい」と意欲を示し、同様の研修が他施設に広がることも期待する。

こち女 Women's CHOICE

地域医療の担い手期待

研修を受けた野中香織さん（左）。復職後も看護師同士で採血練習などに取り組む＝7月上旬、袋井市浅岡の溝口ファミリークリニック

公益財団法人
SBS静岡健康増進センター
人間ドック
女性健診
特定健診
一般健診
脳ドック
PETがん健診
静岡市駿河区登呂3-1-1
TEL 054-282-1109
URL http://sbs-smc.or.jp/
申し込み専用TEL 0800-200-4466

紙面から
焼津で早くも極
平成の県民、価
沖縄知事が辺野
磐田、組織力で
運勢 8 小説 2 ラ
特集面 4 5 曲線